

---

# 北海道創生総合戦略に基づく これまでの主な取組と 2020年度の推進方向

---

※ 本資料は、戦略の重点戦略プロジェクトごとに新型コロナウイルス関連等、現時点における主な取組の推進方向について取りまとめたものであり、今後、感染症拡大の影響等により、変更が生じる可能性があります。

2020年7月

北海道

# 1 重点戦略プロジェクト設定の枠組み

## ■プロジェクト設定の考え方

- ・地域創生の根幹をなす「まち」「ひと」「しごと」の3本柱とその効果を高める2つの横断的な取組の計5つのプロジェクトを設定
- ・当面の人口減少を前提とし、それに対応できる地域づくりを進め、全国に先んじてこうした課題のあるべき姿を示す

北海道を応援するあらゆる人たちの  
関わり・つながりの創出

4

「北海道らしい関係人口の創出・拡大」  
プロジェクト

地域に参加  
地域活性化

人口減少下でも  
心豊かに暮らせる  
地域づくり

1

「心豊かに・北海道暮らし」  
プロジェクト

観光リピート  
消費拡大

多彩な価値・  
魅力を活かした  
しごとづくり

2

「磨き高め輝く・北海道価値」  
プロジェクト

愛着・還流

未来をけん引する  
人づくり

3

「未来をけん引・北海道人」  
プロジェクト

未来技術による  
施策の効率化・効果の最大化

5

「北海道 Society 5.0」  
プロジェクト

# ① 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

～ 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり ～

## これまでの主な取組

### ◆ 少子化対策及び子どもの貧困対策

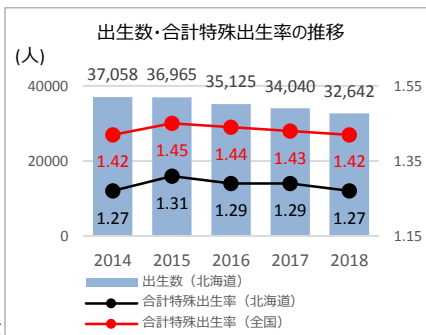
- 第2子以降の不妊治療費等に対する助成、3歳未満の第2子以降保育料の無料化（H29～）
- 子どもの居場所づくりに対する支援、子どもの貧困対策の地域連携体制の整備（H28～）

### ◆ 商店街や中心市街地の魅力や機能の充実

- 商店街の空き店舗を活用したコミュニティビジネスの創出検討及びコミュニティ拠点づくりの取組を支援（H28～）

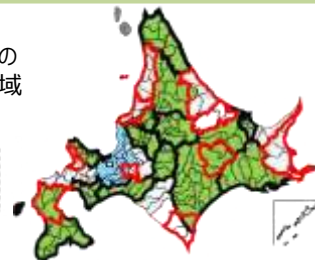
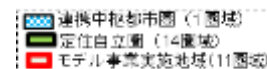
### ◆ 持続可能なまちづくりの推進

- 「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」を開催し、集落対策に取り組む関係者間での情報共有や連携強化を図るとともに、集落課題に係る相談会を開催（年1回（H27年度～R1年度））



### ◆ 道内市町村間の広域連携

- 14圏域での定住自立圏、1圏域での連携中枢都市圏の形成のほか道独自の取組「市町村連携地域モデル事業」により、11地域45市町村において観光・移住・医療等の連携した取組を推進（H27～R1）



### ◆ 公共交通ネットワークの維持・確保

- 十勝地域において駅やバスターミナルにおける案内看板の改善やダイヤ接続の見直し、MaaSの実証実験（実証実験：R1.10, R2.2）
- 道内バス事業の生産性向上と運転手確保に向けたモデル事業の取組を踏まえ、標準的なバス情報フォーマットの普及やICTを活用した実証実験(DohNa!!)を実施（R1）

## 2020年度の推進方向

### 「新北海道スタイル」安心宣言



新北海道スタイル

#### ◆ 「新北海道スタイル」道民運動の展開

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、道民と事業者双方が、感染リスクを低減させる「新しい生活様式」を実践、可視化
- 北海道らしいライフスタイル、ビジネススタイルとして日常に浸透・定着
- 「新北海道スタイル」の普及と消費喚起に向けたプレミアム付商品券・電子クーポンなどの発行 等



#### ◆ 地域の魅力を再発見するモバイルスタンプラリー

- 地域の元気・活力の回復に向け、振興局管内での人の流れの活性化、消費の域内循環、住民による「新北海道スタイル」実践・拡大を促進

### 子育て・教育環境の整備

#### ◆ すべての子どもたちが幸せに育つことができる社会の実現

- 保育士資格の取得を目指す学生の修学資金の貸付や保育補助者の雇い上げ経費の貸付、市町村の行う第2子以降の3歳未満の乳幼児に係る保育料の無償化を支援 等

#### ◆ 子どもたちの確かな学力・体力の育成

- 児童生徒の学力・体力の向上を図るため、学校全体の組織的な検証改善サイクルの確立や、体育専科教員の配置・巡回による授業改善
- ICTを活用したオンライン学習の効果的指導方法を確立するためのモデル実証 等

### 安心できる医療・福祉の充実



#### ◆ エールを北の医療へ！

- 新型コロナウイルスの感染拡大から地域医療を守るための寄附を募集し、医療従事者等への感謝品の贈呈や保健所等の医療用資機材の整備

#### ◆ 第3波以降に備えた医療提供体制等の充実強化

- 医療機関等の感染症病床の確保への支援やPCR検査センターの増設、患者受入機関等の体制確保に向けた医療チームの派遣支援 等



#### ◆ 福祉施設等における事業継続の確保

- 集団感染が発生した施設への介護職員の応援派遣や施設内での療養体制整備に対する支援 等

### 行政サービスの維持・生活インフラの確保

#### ◆ 広域連携による行政サービスの最適化

- 振興局、各市町村、有識者を交えた「地域課題連携対応研究会」において広域連携を図るべき事項を検討・整理し、「広域連携前進プラン」を策定 等

#### ◆ 持続的な交通ネットワーク形成の推進

- 鉄道やバスなどの運行が厳しい状況となり地域交通に空白が生じる恐れがあるエリアの交通手段確保に向けた検討とモデル事業の実施
- 交通事業者が乗り放題乗車券等を企画・販売する場合、その割引相当額を補助 等



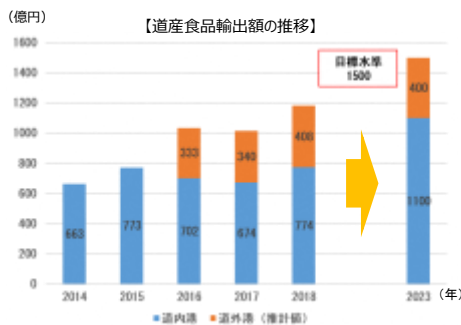
# ② 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

～ 多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり ～

## これまでの主な取組

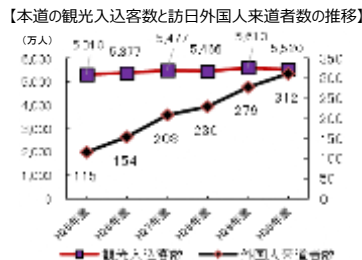
### ◆道産食品の輸出拡大

- ・シンガポール及びタイでの道産品アンテナショップを活用し、テスト販売や卸・あっせん先の開拓、道産食品消費拡大キャンペーンを展開
- ・JETRO北海道、フード特区機構と連携し、「道産食品輸出塾」をスタート。香港、台湾への輸出に向けた商談会やプロモーションを実施



### ◆質の高い観光地づくりの推進

- ・道内各地での日本版DMOの形成・確立を図るため、中核人材を育成する研修や地域への専門家派遣等
- ・市町村や観光協会等が取り組む観光地づくりの支援、アウトドアガイド認証制度の運営・普及促進、体験型観光に関する受入整備や情報発信等



### ◆宇宙分野における新ビジネス創出

- ・展示会出展等を通じて本道の航空宇宙関連の研究・実験施設等のPRを実施
- ・企業、経済団体、専門家、研究機関、行政等で構成される「北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会」を設立し、情報提供や相談対応の各種取組を実施（道内外の展示会：年2～3回、セミナー・研修等の開催：R1年度9回）



大樹町で令和元年5月に打上げが成功した観測ロケット「MOMO3号機」(インターステラテクノロジス(株))

## 2020年度の推進方向

### 道産食品等の需要喚起

#### ◆通販サイトを活用した道産食品販売キャンペーン

- ・新型コロナウイルスの影響により売上が落ちている道内の食品製造事業者を支援するため全国の消費者に道産食品を届ける通信販売等

食絶景北海道



#### ◆道産食品の道内販路確保

- ・道民の道産食品の消費喚起に資するよう、道内百貨店等での感染予防対策を講じた売場確保や宅配サービスにより食関連事業者の販路確保を支援

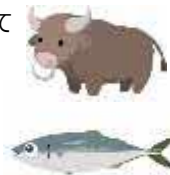


#### ◆「おうちで応援！かって北海道！」運動

- ・統一的なキャッチコピーやイメージのもと、企業や団体と連携しながら道産品購入の取組を道民運動として展開

#### ◆農林水産業の需要喚起

- ・道産牛肉や水産物の道内小・中学校等への給食用食材として提供
- ・北海道漁業協同組合連合会が行う道産水産物の需要喚起等に向けた取組への支援
- ・木材の国内消費に向けた施設整備等への支援等



### 感染拡大防止と経済・文化活動の継続等

#### ◆道内旅行商品割引（どうみん割）

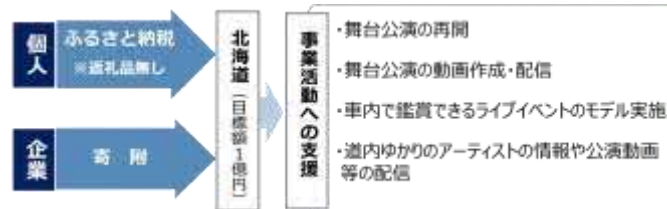
- ・新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ旅行需要の早期回復を図るため、道内における宿泊を伴う旅行商品等を造成・販売する旅行会社や観光施設等に対して支援

#### ◆教育旅行の支援

- ・「新北海道スタイル」に対応し感染リスクに配慮した「教育旅行」の取組支援

#### ◆文化芸術・エンターテインメント活動の再開支援

- ・ふるさと納税を活用した再開支援



HOKKAIDO LOVE!

### 優位性を活かした産業の創造

#### ◆宇宙産業の成長産業化

- ・宇宙産業全体を推進するオール北海道の産学官連携体制を構築するとともに、大樹町の民間ロケット射場の事業化を支援等

#### ◆地域におけるエネルギーの地産地消

- ・エネルギーの自給・地域循環の取組を促進するため、エネルギー資源を効果的・効率的に利用し、エネルギーの地産地消のモデルとなる取組を支援等



# ③ 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト

## ～ 未来をけん引する人づくり ～

### これまでの主な取組

#### ◆外国人材の受入拡大と共生

- 外国人採用基礎セミナーを開催（R1：道内6カ所、計308名参加）したほか、外国人材採用事例集の作成、外国人材と企業の交流会の開催（R1：札幌市内にて2回、計外国人43名・企業16社参加）
- R1年8月に「北海道外国人相談センター」を設置し、多言語による相談対応や道内12地域での移動相談会を実施

#### ◆産業人材の育成・確保

- 各種イベントを活用したものづくり産業の魅力PR（No Maps、札幌E-タージョー）
- 農林水が一体となり道内の各高校生を対象とした出前講座や、首都圏での移住相談会への参加など、本道一次産業の魅力のPR



#### ◆北海道働き方改革推進企業認定制度

- 働き方改革に取り組む企業を、働き方改革の取組の熟度に応じて、北海道働き方改革推進企業として4つのグレードで認定



## 2020年度の推進方向

### これからの北海道をけん引

#### ◆地域づくりにチャレンジしている方々のネットワーク化

- 地域が抱える課題の解決や地域の特性を活かした地域づくりを推進するため、各地で地域づくりにチャレンジしている方々の業種や地域を越えたネットワーク化等

#### ◆キャリア教育や産業教育の推進

- グローバル人材を育成するため、高校生が自ら考え、地域の課題の解決に主体的に取り組む教育活動を通して、キャリア教育や産業教育を推進
- 農林水産業や建設産業を担う後継者の育成を目的とした、本道の基幹産業等への関心を高める総合的なインターンシップの実施等

#### ◆ふるさとの自然や歴史、伝統、文化、産業等に関する教育の充実

- 郷土を愛し、発展させていこうとする気持ちを育むため、本道の自然や文化、観光、産業などの教育資源を活用した学習や、北方領土やアイヌの人たちの歴史や文化などに関する学習の充実等



札幌農学校

### 様々な分野をけん引

#### ◆農林漁業を支える人材の確保

- 農林漁業を支える人材を確保するため、先輩業者によるジョブセミナーや就業希望者の意向に沿った就業実習の機会の提供等



#### ◆北の森づくり専門学院をはじめ森林づくりの担い手対策

- R2年4月設置の「北の森づくり専門学院」による担い手の育成、木育の推進等



北海道立北の森づくり専門学院

#### ◆ものづくり企業における技術系人材の育成

- ものづくり企業の販路拡大や新分野進出を促進するため、IoT技術や生産管理などの技術系人材の育成強化のほか、専門家派遣による課題解決や成功モデル創出等



### あらゆる立場・世代がけん引

#### ◆多様な人材の活躍に向けたきめ細やかな支援

- 新型コロナウイルスの影響等により、離職した方々の再就職を支援するため、ジョブカフェ・ジョブサロン北海道のカウンセリング体制を拡充するほか、Webによる企業説明会等を実施
- オンラインサービスを活用した若年者の就職活動及び企業の採用活動を支援等

- 女性・高齢者・障がい者等の潜在労働力の新規就業促進・定着に向け、求職希望者の掘り起こしや企業の柔軟な就業環境整備を行うコーディネーターを派遣
- 障がい特性を踏まえた就労の場の確保や工賃水準の向上支援のため、障がい者就労施設等の農業への参入支援のための専門家の派遣や認知度向上のためのマルシェの実施
- 企業の人手不足解消に向けた若年者、女性、中高年齢者、外国人材等の多様な働き手の就業促進のため、求職者と企業のマッチング事業を実施等

#### ◆働き方改革の推進

- 中小企業等の就業環境改善を促進するため、地域企業へハズオン支援（専門家派遣）を実施
- 北海道働き方改革推進企業認定制度の運用による認定企業に対する様々な優遇措置の提供
- 長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進に係る普及啓発ならびに支援制度の活用促進等





## ～ 北海道を応援するあらゆる人たちの関わり・つながりの創出 ～

### これまでの主な取組

#### 北海道ファン獲得に向けた取組の推進

##### ◆ほっかいどう応援団会議の発足

- 道や市町村が応援を求める取組や、応援団会議参加企業の応援実績等を一元的に発信するポータルサイトや公式SNSを開設し、戦略的に情報を発信（R1.9～）
- 知事、市町村長が道内外の企業等に対し、地域の魅力や応援を求める取組をPRする場として「ほっかいどう応援セミナー」を開催（R1.9 東京、R2.1 大阪）



応援セミナーの開催

ポータルサイトでの発信



##### ◆移住・定住の促進と連動した取組

- 将来的な移住につなげるため、首都圏等において、「しごと」「住まい」「暮らし」の情報を一元的に発信するワンストップ窓口を運営（ふるさと移住定住推進センター(どさんこ交流テラス) R1年度相談件数1,610件）
- 首都圏の若者が気軽に北海道の「暮らし」や「しごと」の情報を入手し、相談や意見交換ができる「北海道とつながるカフェ」を東京都内で開催（H30：9回、R1：8回）

東京交通会館を北海道の情報拠点として、ワンストップサービスを実現（1F、3F、8Fで連携）



どさんこ交流テラス(8F)



どさんこ旅サロン(3F)



どさんこプラザ(1F)



北海道とつながりを紹介するパンフレット

## 2020年度の推進方向

### 感染症拡大による首都圏企業や人々の意識・行動の変化を的確に捉え、新しいひとの流れの創出・拡大を図る

#### 感染症拡大による人々の意識・行動の変化

- 東京圏一極集中のリスクを再認識
- リモートワーク等の働き方の変化
- 地方移住への関心の高まり等

都市住民  
(特に若者)

首都圏企業等

東京圏  
一極集中の是正

戦略的アプローチを展開

ほっかいどう応援団会議のネットワークの活用をはじめ、市町村や関係団体等と連携

都市住民  
向け

首都圏  
企業向け

#### ◆ウィズコロナに対応した移住・定住の促進

- 都内のワンストップ相談窓口に加え、オンライン移住相談窓口を新設

#### ◆北海道らしい関係人口への誘い

- 首都圏の若者をターゲットとし、将来的な本道への移住に向けた意見交換や相談等が気軽にできる「北海道とつながるカフェ」をオンラインで開催
- 北海道を応援する企業等と連携し、北海道との関わり方をPRするオンラインイベントの開催
- 入口の段階から関心層へのステップアップに向けた動画コンテンツの充実等による情報発信力の強化

#### ◆サテライトオフィス等地域拠点誘致、北海道型ワーケーションの展開

- 首都圏企業のニーズ調査及び道内市町村等の受け入れ側の意向調査を実施
- 首都圏企業を対象に、サテライトオフィスと遠隔地型テレワーク拠点の誘致活動を積極的に展開
- 北海道ならではのワーケーションプランの検討など、道内市町村と共同で北海道型ワーケーションを普及・展開

#### ◆道内版関係人口の創出・拡大

- 道内市町村の課題解決に向け、ウェブ等を活用して市町村と地域に関心を持つ札幌市民等をつなぐ仕組みを構築

#### ◆高校生の「地域留学」の促進

- 地域と連携して特色ある教育環境の整備などを進め、全国の高校生を地域留学により受け入れ



# ⑤ 「北海道 Society 5.0」プロジェクト

## ～ 未来技術による施策の効率化・効果の最大化 ～

### これまでの主な取組

#### ◆北海道Society5.0懇談会（R1.10設置）

- 人口減少や高齢化の急速な進行に伴う労働人口の減少や地域における医療・教育の確保、経済のグローバル化に対応した産業競争力の向上など、本道が直面する様々な課題を未来技術を活用して解決し、活力ある北海道の実現に向けた取組を進めるため、学識経験者や民間事業者、行政機関などからなる懇談会を設置し、未来技術を活用した北海道の未来社会の姿を示す「北海道Society5.0構想」を策定。

#### ◆スマート農業の推進

- 北海道スマート農業推進協議体の設置（H28～、約200団体・個人）、スマート農業セミナー（H29～、延べ約750名）、農作業機実践研修（H29～、延べ約150名）等を実施



測位システムを活用した無人トラクター  
(北海道大学)

#### ◆自動運転の通年実用化に向けた取組

- 北海道自動車安全技術検討会議の開催（H28～）
- 全国初のワンストップ相談窓口の設置（H28～、相談件数：248件）
- 実証適地データベースによる情報提供 等



28のテストコースが集積



## 2020年度の推進方向

### ICT技術の導入加速化

#### ◆北海道IoTの普及推進

- IoTを活用した北海道特有の地域課題の解決を促進するため、ほっかいどう応援団会議などを活用した企業と道内市町村とのマッチングや、企業への支援 等



#### ◆ITを活用して感染症の危機を乗り越える

- 道内IT関連団体との連携により、新型コロナの感染拡大防止から感染終息後を含めて様々な困難な状況の中でテレワークの導入をはじめ企業経営をサポートする道内 I T 技術を取りまとめ紹介 等

### 暮らしの質を高める

#### ◆遠隔医療・遠隔授業の充実

- 都市部の専門医が、遠隔地の医師に指導・助言を行うことができるよう遠隔TVカンファレンスシステム等の設備整備の支援
- 郡部の小規模校においても、大学進学等に必要の学習ができるよう、地域連携特例校等に多様な教科・科目を効果的に配信することのできる環境を整備 等



遠隔授業配信を集約化

#### ◆介護ロボット導入支援

- 介護職員の労働環境を改善し介護人材を確保するため、業務負担軽減等のための介護ロボットや I C T 機器の普及を促進 等



#### ◆北海道型MaaSの展開

- 利便性が高くストレスのない移動の実現を目指し、MaaSの展開に向けた検討を進め、地域住民向けMaaSの実証実験を実施 等



### 価値と魅力を高める

#### ◆スマート農林水産業の展開

- ICTやロボット等の先端技術を活用したスマート農業の実践研修や農業者への普及、スマート林業の現地実演や林業事業者での試行支援
- 生産量が減少しているコンブの生産増大を図るため、ICT技術等を活用した漁場の把握手法や生産工程の自動化モデルの開発 等

#### ◆効果的な獣害対策の実施

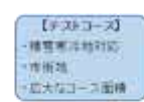
- モデル地域においてICTを活用したアライグマの捕獲プログラムの実証・作成、市街地周辺に出没するヒグマ対策の検証 等



市街地に出没するヒグマ

#### ◆自動運転の開発拠点化促進

- 研究開発拠点化を図るため、実証試験等の誘致や本道に適した積雪寒冷対応システムの検討、ワンストップ相談窓口を通じた情報提供の強化 等



### 人づくりの効果を高める

#### ◆情報活用能力を育む教育の充実

- 「GIGAスクール構想」を推進するため、道立学校のネットワーク環境を整備や児童生徒1人につき1台のPC整備、オンライン学習環境の整備 等



## 2 地域戦略の取組方向

### ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

#### ◎ 空知地域

##### ◆ 未来技術の導入などによる産業の振興、担い手の確保

- 新たな技術の活用による農業生産の省力化やコスト削減、空知のブランド力の向上に結びつくような技術実証と普及、将来の農業・食関連産業を支える人材の育成
- 空知産ワインの産地形成を強化するため、ワイン造りに携わる人材を対象に研修会を開催するほか、「そらちワインガイド」を発行 等

##### ◆ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信

- 日本遺産「炭鉄港」の理解を高めるため、鹿児島県とのオンライン交流やウェルカムボードのデザイン作成、土産品の開発や旅行商品の造成などの実施
- 空知の魅力を訴求する空知観光マップを作成するほか、台湾のインフルエンサーを活用した情報発信、SNSを活用したフォトコンテストやキャンペーンなどを実施 等

##### ◆ 空知と多様な形で関わりを持つ人材の創出に向けた取組の推進

- 空知にゆかりのあるヒトや企業へのPR、子育て世代を対象とした空知のアクティビティスポットや移住・定住支援施策を紹介するテーマ別PR冊子などの作成
- **新型コロナウイルスの状況を見極め、管内自治体との連携や管内に所在する3つの大学との交流なども視野に入れながら、シビックプライド醸成のための事業を展開 等**

#### ◎ 後志地域

##### ◆ 農林水産業の持続的発展やブランド化の推進

- GPSガイダンスシステムや自動操舵の活用、ドローンのリモートセンシングの実証など、管内の経営体系に応じたスマート農業のあり方を検証し、後志モデルを構築
- 管内水産物のPRや販売促進を目的に管内飲食事業者や一般消費者向け産地市場見学会を**新型コロナウイルス感染防止に十分留意し実施**
- 管内飲食店のテイクアウトや生産者による通販情報等を取りまとめ、SNSを活用した情報発信 等

##### ◆ 国際観光リゾートエリアを活用した広域観光の展開

- マウンテンバイクの夏の観光コンテンツとしての磨き上げやアドベンチャーツーリズムの情報発信
- 後志の自然と食の魅力を活かしたツーリズムを推進し、観光誘客につなげるため、動画サイト（日・英）作成による管内コンテンツの紹介やネットを活用したキャンペーン等の実施 等

##### ◆ 人口減少社会に対応した活力あるまち・ひと・しごとづくりの推進

- インバウンド・多文化共生先進地である後志は、SDGs先進地にもなり得るという地域特性を活かし、SDGsのターゲット4.7で指標とされている「グローバル・シチズンシップ」の育成への取組
- 多様な人材が活力を持って働く場所（グローバル・ワークプレイス）の確立に向けた、マッチング対応窓口の設置や、人材確保のためのオンラインセミナーの実施 等

#### ◎ 石狩地域

##### ◆ 子育てを地域で支える環境づくりと育児に優しい企業を増やす取組の推進

- 新型コロナウイルスの状況を見極め子育て支援拠点の職員を対象としたセミナーの開催や、市町村・拠点職員のネットワーク形成に向けた会議の開催
- 「仕事と家庭の両立支援ハンドブック」などを活用した団体・企業等への周知 等

##### ◆ 若者の地元定着などの取組

- 仕事だけではなく私生活についても圏域で豊かに暮らすイメージや地域情報の提供を行う「いしかり・ライフスタイルパンフレット」の製作、移住見学相談会のオンライン開催
- 学生の視点に基づいた、課題解決を行う取組を契機とした地元企業と大学との連携の強化 等

##### ◆ 都市と自然とが共存する石狩観光スタイルの推進と石狩の食の魅力のブランド化

- 新型コロナウイルスの影響を受けているいしかり地域を応援するため、地域農水産物等の魅力発信や地域住民の活力向上、北海道スタイルの普及啓発を目的に「いしかり地域応援フェア（仮称）」の開催や、石狩産の花アレンジメントの社会福祉施設への提供
- 管内市町村と連携し、国際的なイベントを契機とした国内外における観光プロモーション活動の展開や「いしかりの食と観光」ガイドブックの作成など石狩管内の食の魅力発信 等

#### ◎ 胆振地域

##### ◆ 交流人口及び関係人口の創出・拡大に向けた官民連携による地域資源の活用

- 「胆振五大遺産マップ」を作成し、道内を中心としたプロモーションを実施
- ウポポイ開業を応援するとともに、管内の周遊や域内消費を喚起する、ウェルカムキャンペーンの実施
- 食と観光のポータルサイトの構築やSNSを活用した発信など新型コロナウイルスの影響を受けている胆振の食と観光を応援 等

##### ◆ 胆振の強みを活かした産業の振興と地域の未来を支える人材の確保・育成

- 胆振産食材の利活用促進及び食のPR・強化のため、胆振産食材を使ったメニューを提供する「いぶりフェア」を新型コロナの状況を見極めて開催
- 高校生等を対象とした地域のものづくり産業に関する説明会等を新型コロナの状況を見極めて開催
- フードロスの可能性のある食品を活用し、子ども食堂等の活動支援につなげるため、関係者による子ども食堂応援会議を設置 等

##### ◆ 胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興の推進

- 被災自治体の高校生に参画してもらい、地域資源（歴史文化資源・郷土芸能・祭り・食資源等）を被写体として、復興・地域資源フォトカレンダーを作成・配付
- 要支援者抽出や支援の検討など被災に係る3町のメンタルヘルス対策への支援、被災住民への健康に係る家庭訪問や相談 等



## 2 地域戦略の取組方向

### ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

#### ◎ 日高地域

##### ◆「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大

- ・「春立ブリ・三石ブリ」や「えりも短角牛」など、「ひだか」製品の知名度向上及び販路拡大を図るためのテスト販売及び大都市圏の居酒屋との共同企画などの実施
- ・門別競馬場や道外競馬場での北海道ひだかPRによる地域誘引、ホッカイドウ競馬の知名度向上を図るため、馬産地や馬の魅力と合わせた北海道ひだか地域産業の情報提供 等

##### ◆「ひだか」の産業を支える人材確保・育成

- ・高校卒業後の地元就業の促進のため、高校1・2年生を対象とした地元産業や企業を知ってもらうフェアを新型コロナの状況を見極めて開催
- ・管内で働く人の仕事場や日高地方ならではの暮らしぶりの動画をSNSと連動させた知名度向上等を図るほか、仕事のやりがいや暮らしぶりを一元的に発信するポータルサイトを作成 等

##### ◆「ひだか」の魅力発信と観光の振興

- ・とちか帯広空港と連携した誘客プロモーション、ウポポイ周辺にて開催予定のイベントでのPR出展、東京23区との連携によるPR活動の開催などを新型コロナの状況を見極めて実施
- ・日高山脈襟裳国定公園の環境保全やアポイ岳ジオパークの利活用への促進に向けた自然環境マップの作成 等

#### ◎ 檜山地域

##### ◆農林水産業の振興と担い手対策の推進

- ・スギの地域利用拡大のため、新型コロナの状況を見極めてイベント等による一般消費者向けPR及び建築関係者向け建材・建具のPRの実施
- ・スマート農業の実証試験・効果検証・普及促進、新規就業者確保に向けたインターンシップや仕事説明会の実施 等

##### ◆安全で快適に暮らすことのできる地域社会の形成

- ・看護師確保・定着に向けた「めざせ看護師！檜山塾」の実施
- ・「ひやまSHOWがウィーク」の開催（障がい者就労支援事業所の展示・販売、パネル展示など） 等

##### ◆歴史・文化・食・自然を活かした交流人口の拡大

- ・新型コロナの状況を見極めて食と観光に関する人材育成や魅力発信を行うための人材育成研修などの開催
- ・管内各町と連携し、檜山地域が一体となった物産・観光プロモーションの新型コロナの状況を見極めて実施や、「ひやまの観光をみんなで考える会」の実施
- ・檜山を想う人々が集う交流会と地域リーダー育成セミナー開催、管内の地域おこし協力隊が集う研修会の開催 等

#### ◎ 渡島地域

##### ◆北海道新幹線札幌延伸による交流人口拡大を見据えた受入環境整備

- ・来道者増加へ向けた北海道新幹線の認知度向上、青函エリアの観光PRや誘客促進のため、JR及び青森県等と連携した広域観光キャンペーンの実施
- ・新型コロナの克服を目指す渡島地域の魅力を縄文文化とともに再発信する動画コンテンツの作成、新型コロナの状況を見極めて地域住民等を対象としたパネル展や出前講座の実施 等

##### ◆渡島の魅力を活かした定住環境づくりと関係人口創出の推進

- ・管内市町と連携した移住の取組促進やSNSを活用したフォトコンテストの開催など、道内外に広く地域の魅力を発信し、管内への移住・定住者の増加と若者の地元定着を促進
- ・地域おこし協力隊が任期後も地域に定住することができるよう、起業や就業に関する研修会を開催 等

##### ◆渡島を支える農林水産業の振興と6次産業化への取組強化

- ・道南スギをはじめとする地域材のブランド化、付加価値向上を目指し、商業施設等と連携したPRや有識者による検討委員会の開催
- ・6次産業化及び高付加価値化に取り組む先進事例の調査や、農業をはじめとする一次産業への就業者確保対策として「道南お仕事フェア」を新型コロナの感染防止措置を取りながら開催 等

#### ◎ 上川地域

##### ◆天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進

- ・天塩川愛を醸成するため、ゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作
- ・新型コロナウィルスにより道外などの観光客を誘客しにくい状況の中、感染が少ない道北エリアでの近隣観光を積極化するためのPR、個人型モニターツアーを実施
- ・新型コロナウィルスにより各種スポーツ大会等が中止となる中、スポーツの力で地域活性化を図る管内プロスポーツチーム応援キャンペーンなどの実施 等

##### ◆米や野菜、森林など地域の強みを活かした農林業の振興

- ・振興局web「かみかわ食べものがたり」やfacebook等の更なる記事の充実や、新型コロナの状況を見極めて各種イベントへの参加による上川産食材のPR
- ・上川管内事業体に対するSGEC-CoC認証（持続可能な森林経営を認証）の取得促進や、旭川家具などの魅力を学ぶ『木のまち旭川エリア「未来づくり感響プロジェクト」』の実施 等

##### ◆人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者の確保・育成

- ・業界・企業・行政が連携して人材確保に必要な支援及び検討を行う「上川地域人材確保地域連携会議」の開催、高校生を対象にしたインターンシップ導入に向けた仕組みづくり
- ・農業高校生等を対象とした農業や林業の体験学習や先進的農家の視察などを新型コロナの状況を見極めて実施 等

## 2 地域戦略の取組方向

### ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

#### ◎ 留萌地域

##### ◆ 南北で異なる自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興

- 生産性向上に向けたほ場の透排水性改善の実証、販路拡大に向けたルルロンPR資材作成・配布、さくらんぼ収穫体験ツアーや花きのフラワーウォークの取組、モデル地域における新規就農者対策を推進
- 地域が一体となってカレイの消費拡大を図るため、カレイのブランド化の検討、販売促進や新たなカレイ料理のレシピ作成など認知度向上の取組 等

##### ◆ るもいが持つ「食」「観光」のポテンシャルを活かした交流人口・関係人口の拡大

- 食資源と特産品の消費拡大のため、どさんこプラザ札幌店での新北海道スタイルに基づいたイベント（11月予定）や、事業者の通販サイトを活用したテスト販売の実施
- 「深川・留萌自動車道全線開通記念スタンプラリー」の実施 等

##### ◆ 将来にわたって留萌に住み続けてもらうための暮らし・人づくり

- 留萌地域PRパンフレット（英語/ベトナム語版）、PR動画（ベトナム語対応）の作成、留萌管内の課題・特徴を踏まえた外国人材誘致・活用マニュアル作成
- 新たな労働力融通システム構築に向けた課題の調査・検討、外国人材の受入環境整備に向けた先進事例共有・横展開 等

#### ◎ オホーツク地域

##### ◆ 国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化

- ICTを活用した農業用機械等の導入拡大と効果的な利活用を進めるため、ICT農業の実態把握や導入効果の検証
- 首都圏及び管内道の駅等における一般消費者向けオホーツク産木製品及び地域のPR 等

##### ◆ 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

- オホーツク食の地域ブランド形成ネットワーク等の活用による情報提供、新型コロナの状況を見極め道央圏及び道外でのオホーツク産品PR活動を実施 等

##### ◆ 人口減少社会を見据えたオホーツク地域への来訪促進

- 国内外へ地域の魅力を発信するための分野別、圏域別コンテンツの整理・作成、SNSやWebサイト等を効果的に活用した情報発信の強化
- 各交通モードや民間事業者等と連携し、予約・決済サービスの拡充や利用促進を図る取組など、より利便性の高いシームレスな交通サービスの充実にに向けた取組の実施 等

##### ◆ オホーツク地域への人口定着の推進

- 管内の高校生等若年者を対象とした地元企業展示会及び管内企業バスツアーの実施
- 職場見学や出前授業等の受入可能企業を取りまとめたリストの作成や、地域の様々な分野で活躍する人やその仕事を紹介する冊子等の作成 等

#### ◎ 宗谷地域

##### ◆ 地域の強みを活かした産業の強化と担い手確保の推進

- 日本海地域における新規漁業就業者を確保し、漁業生産活動を安定的に継続させるため、首都圏でのU・Iターン希望者などを対象に、漁業の魅力や就業環境などのPRを実施
- 農業分野への就職を目指す農業系大学生等を対象に、管内への誘致に向けたPR内容をまとめた動画を作成して大学に送付 等

##### ◆ 離島などの雄大な自然や地域の特色を活かした観光・食産業・交流の強化

- 「宗谷のシヨク」の道内外への販路拡大を図るため、管内の関係機関が一体となって食のブランド化や高付加価値化を推進するとともに「地域の稼ぐ力」の向上
- 新型コロナウイルスの影響により利用者が大きく落ち込んでいる公共交通の利用促進のため、鉄道及びバスの乗車体験会を開催するとともに、動画による地域の魅力発信の実施 等

##### ◆ 人のつながりの深化など活気あふれるネットワークの構築による地域活力の向上

- 新型コロナの状況を見極め若者を対象とした「SOYA fresh☆network」に係る研修会等を通じ、地域の将来を担う若手世代の資質向上や、若者が活躍できる環境を整備
- 管内市町村と協働で動画コンテンツを制作するなど、地域が一体となった情報発信を行うことにより、「宗谷」の一層の認知度向上と地域の魅力の再発見を促進し、郷土愛を醸成 等

#### ◎ 十勝地域

##### ◆ 「食の拠点」の機能強化による地域産業の振興

- 十勝産原材料を活用した食品である「十勝ブランド登録品」の普及支援、どさんこプラザ札幌店で十勝産品を集めたフェアの開催 等

##### ◆ 滞在型・周遊観光の推進

- 十勝の魅力発信・観光資源のPRキャンペーンを管内及び道内を対象として実施
- 管外からの観光客を対象に十勝管内のバスが乗り放題になるチケット「VISIT TOKACHI PASS」を発売 等

##### ◆ 近未来技術の実用化及び先進分野の産業振興による地域活性化

- 十勝の航空宇宙関連ビジネスの他産業への波及を促す取組等の実施
- 「バイオガスプラント」をエネルギー化する際に発生する「消化液（Digestive Juice）」の畑作農地へ還元方法等を調査・検討し、効果的な利用の推進 等

##### ◆ 多様な人材が活躍できる環境づくりと地域を支える人づくり

- 「新北海道スタイル」に沿った形で地域住民の生活を変革、一次産品の消費拡大や公共交通利用による管内活性化などの施策を展開
- 流出傾向にある若手女性等を中心としたWGを設置し、まちづくりに向けたニーズ把握など魅力創出に向けた取組を新型コロナの状況を見極めた上で実施 等

## 2 地域戦略の取組方向

### ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

#### ◎ 釧路地域

- ◆「根釧酪農ビジョン」の推進など一次産業の生産力強化・付加価値の向上
  - ・食のブランディング戦略の策定・推進に向けたニーズ調査やコロナ対策で経済関係団体と構築した食関連事業者等通販ポータルサイトの利用によるくしろ製品の販売機会の創出・販売促進・PR等の実施
  - ・新型コロナウイルスの影響で消費の落ち込んだ釧路産乳製品の消費拡大促進のため、管内飲食店と連携したレシピの開発、PR活動 等
- ◆様々なコンテンツの磨き上げによる誘客促進や、関係人口の拡大に向けた取組
  - ・管内市町村及び東京都荒川区と連携して、新型コロナの状況を見極めインフルエンサー招聘による情報発信や、くしろ地域産食材を活用した都内飲食店との連携事業などの実施
  - ・「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」を母体として、道東自動車道の釧路延伸を契機とした道内外へのプロモーションを実施 等
- ◆安心して豊かに暮らすことができる、地域内連携強化によるくしろ型地域創生の推進
  - ・地域の新たな価値の創造や地域で活躍する人材の育成・発掘するため、受講者間の交流を中心としたセミナーや大学生対象の地域課題解決をテーマとした出前講座を実施
  - ・移住希望者に向けたオンラインでの情報発信、移住希望者のニーズに対応できるWEBサイトの構築 等

#### ◎ 根室地域

- ◆若者、女性、高齢者など多様な人材の活躍等による少子高齢社会への対応
  - ・地域の実情に応じた子育て環境のニーズ把握及び課題共有を図るため、多様な主体が連携する子育て支援ネットワークを各市町単位に構築 等
- ◆我が国最大の草資源を活かした酪農や豊かな漁業資源を有する水産業の振興
  - ・優良草地確保に資する優良事例地域等の設定、ICT草地管理講習会の開催、省力化技術の優良事例の地域及び生産者の選定
  - ・根室産マイワシ「根室七星」の業者向けサンプル加工品の開発、改良、製品化、管内漁協女性部や漁業士のお料理教室における根室七星料理のPR
  - ・根釧独自就農フェア、家族向け酪農体験ツアーの開催、農業者と連携した農業系学校への就農促進活動、先進地視察 等
- ◆知床をはじめ地域の魅力を活かした取組や交流・関係人口の創出・拡大
  - ・withコロナ時代のドライブ観光を提案し、フットパス等を柱としたドライブ観光を促進するためのパンフレットの作成、GoToキャンペーン事業と連動した地域全体の消費を促す事業の実施
  - ・道の駅との連携や清掃活動など「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」のルート指定に向けた取組 等



### 3 市町村戦略支援

#### ～ 道と市町村の強固なスクラムのもと効果的な総合戦略の推進 ～

- 第2期北海道創生総合戦略において、新たに「市町村戦略支援」を章立て
- 「財政的支援」・「情報支援」・「人的支援」の3つの支援の方向性により、市町村の創意工夫を活かした取組を支援
- 地域課題の解決に当たり、民間が有するノウハウの活用が求められる場合は、「ほっかいどう応援団会議」などを通じて支援

#### 2020年度の推進方向

各市町村が切れ目なく総合戦略を推進できるよう支援

##### 【財政的支援】

###### ● 地域づくり総合交付金

<予算額の推移>

地域課題の解決や  
地域活性化を目的  
に取り組む市町村等  
の事業を支援

R2年度	45.5億円
R元年度	45.5億円
H30年度	45.5億円
H29年度	45.0億円

###### ● 地域政策推進事業

振興局が地域と連携・協働のもと、政策形成  
段階から事業展開まで一貫して地域に根ざし  
た政策を推進

###### ● 国の地方創生関係交付金や

###### 地方創生応援税制の活用に向けた相談対応

- 国の地方創生関係交付金の採択率向上  
をめざし、交付金申請を支援
- 国の説明会等にあわせ、道職員が市町村  
を訪問し、交付金の活用等に関する相談  
会を実施
- 「企業版ふるさと納税推進リーダー」として  
道職員を登録し、市町村からの相談に個別  
に対応するとともに、必要に応じ国との調整を  
実施

##### 【情報支援】

###### ● 市町村の課題把握と情報共有

戦略推進上の課題等把握のための調査を実  
施し、結果を共有

###### ● 先行事例等の普及

- 先進的、特徴的な取組を道のホームページ  
に掲載し情報共有
- 北海道創生ジャーナル「創る」の発行・サイ  
ト掲載による先進事例の横展開



道内各地域の先駆的プ  
ロジェクト等を紹介。  
電子書籍化して全国に  
も発信。

- 先進事例を紹介する市町村向け勉強会  
の開催
- 市町村の取組に資する情報の提供
- 地域創生に資する道の取組に関する情報  
を積極的に提供
- 「RESAS」を活用した地域分析等の支援

##### 【人的支援】

###### ● 地域振興派遣などの職員派遣

- 広域性やモデル性の高い取組等を推進す  
る市町村に対し、「地域創生枠」として、  
振興局長の裁量により道職員を派遣

<派遣者数>

R2年度	33人
R元年度	38人
H30年度	38人
H29年度	39人

<派遣先での主な業務>

- 官民連携を活用した道の  
駅再編整備に係る検討
- 和牛の生産基盤強化に向  
けた施設整備計画の策定
- 余剰天然ガスを活用した  
経済・エネルギーの地域  
循環の推進 など
- 道職員が短期的に地域に出向き地域振  
興の取組を支援する「北海道創生出張サ  
ポート制度」の実施

###### ● 市町村プロジェクトの企業等マッチング支援

「ほっかいどう応援団会議」のスキームを活用し  
ながら、市町村の地域創生プロジェクトと道内  
外の民間企業とのマッチングを総合的に支援